

★イマジンオリジナルTシャツのご紹介★

イマジン倉庫より、やさしい気持ちになれるTシャツが登場!!



サイズはS / M / L / XL / XXL / XXXL
カラーはそれぞれ白と黒の2色があります。

お買い求めは
こちらまで



<https://store.shopping.yahoo.co.jp/imagineshop/jihi-bl.html>

(編集:関)

テレビ大阪
BSテレビ東京
土曜深夜
ホメられたい僕の妄想ごはん
夏子さん(藤沢珠希役)へ
衣装提供



artist 紹介
濱中 徹さん
Heart Wallpaper Project
HWP<ハート・ウォールペーパー・プロジェクト>のパートナーアーティスト、濱中徹さんの作品のご紹介です。

濱中さんが描く作品は、繊細な線で描かれたものが多く、生き物、機械、全てのモチーフがゆっくりと音を立てて動き出しそうな、そんな雰囲気を感じます。また、使われている色も一色の中に様々な濃淡があり、明るい色にもどこか柔らかなさが伝わってくる作品が特徴です。



(編集:中野)

アートと暮らす 生活を彩るおしゃれ雑貨に出会える場所

今回は、ハート・アートクッションカバーを取り扱っている京都の雑貨屋Irodori YoriDoriさんのお話。Irodori YoriDoriさんで、「これ可愛い!」と手に取った雑貨は、斬新で初めて見る色遣いのものばかり。また、ハンドメイド雑貨はとても丁寧な作りであり、価格もリーズナブル。ハンドメイドならではの良さは、生活に彩りと、心をより豊かにしてくれるだろう。たまには、時間を忘れて、ゆっくりとお気に入りの雑貨を探してみたいはいかがだろうか。



Irodori YoriDori 情報
住所: 京都府京都市西京区川島庭田町9-3
TauT 阪急洛西口内
SHAREDEPARTMENT R-3
Instagramは右側のQRから▶▶

(編集:中野)

私の *思い出グルメ*



↑ずっと以前に行った名古屋出張の仕事終りで食べた味噌カツ。濃い味が、疲れた体に沁み渡り美味しかった〜。



↑友人との九州旅行で食べた鹿児島名物の白くま(カキ氷)。氷がフワフワでフルーツ山盛り。食べ応え十分で大満足!!

FOCUS 第5回 「筆耕」=筆で文字を書く仕事。

「何百年の歴史はいま-筆耕とは」
看板業界は、手書きが何百年も続いた。カッティングシート(マーキングフィルム)の登場は不明だが、パソコンを使ってカットするプロッタは1987年に登場。1960年代にインクジェットプリンターが商品化、看板業界もMacの登場と共にカッティングシートと大判出力の時代に。

当社に向向っていたいただいているティネの本郷さんは、今でも筆耕をこなす貴重な方。筆耕について聞くと、基本は盤面に溝

引きでアタリとなるマス目を用意し、あとは下描きなしに一気に文字を描いていく。「書く」のではなく「描く」。書き順などは無視され、逆から書いたりして形を作っていく。下描き無しで描く様子は経験が裏付ける職人技。今でも木札や賞状、胸バラ、横断幕などで需要がある。本郷さんも70代。高齢化が進み、手書きフォントもある今、筆耕は失われる職業なのかもしれない。誰か、継承してみないか。参考に多摩美術大学で披露された記事を紹介。(編集:岡本)



ハフポスト

コラム「ガンバレワタシ」

先日、小学1年生の息子の運動会がありました。今年の運動会は、授業2時間が運動会で1・2年生だけの合同運動会でした。「がんばれー!」と応援したくてもマスク着用で拍手での応援。子どもたちはマスクをして競技をしていたので、自分の子どもがどこにいるか探すのが困難でした。「何のために運動会をするのか?」そんな問いについて考えたことはありませんでしたが、今後も新しい形の運動会が行われるようになるのでしょうか。

いいものを残して、よりよい未来を作るために、できることは何かを考えることが大切です。
「ガンバレ!息子!」「ガンバレ!私!」「ガンバレ!みんな!」



(京都営業所:石田)

編集後記
全国的に発令されていた緊急事態宣言が解除され、気持ちが少し軽くなった編集長の中島です。イマジン倉庫より発売中のオリジナルTシャツ、なんとも味のあるイラストが描かれています。やさしい気持ちになれるTシャツ。ご自身に、大切な人へのプレゼントにいかがでしょうか。

次号
次号は、イマジン社内で開催するフォトコンテスト「身近な秋」の作品を発表!また、イマジン倉庫から発売する新商品の数々をご紹介します!益々面白くなるイマジンをどうぞご期待ください。(校閲:大泉ひ)

※記事中敬称略